

東建協発第 38 号
平成 18 年 7 月 6 日

会 員 殿

社団法人 東京建設業協会
会 長 山 田 恒 太 郎



建設関係殉職者調査について

貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、全国建設業協会主催による建設関係殉職者の慰霊祭は、恒例により本年も秋の彼岸を期して執り行われる予定であります。

つきましては、標記殉職者調査を実施いたしますので、貴社関係で下記事項に該当する殉職者がおられましたら、別添報告書様式によりご報告下さるようお願い申し上げます。

また、ご提出いただきました調査資料につきましては、同慰霊祭及び慰霊塔への合祀についてのみ使用いたします。

記

1. 殉職者の調査機関

- (1) 平成 17 年 7 月 1 日より平成 18 年 6 月 30 日までの期間に殉職された方
- (2) 前回の報告にもれた方 (別記してください)

2. 調査範囲

貴社および貴社関係協力業者

※ 各都道府県の建設業協会に於いて同時に調査いたしますので、重複をさけるため、本社等で一括お取りまとめの上、本社所在地の協会宛にご報告願います。

3. 報告期限

平成 18 年 7 月 25 日 (火) まで

※ 該当者が無い場合は、ご報告いただく必要はありません

4. 報告部数

別添の報告書にご記入の上、2 部ご返送下さい

5. 報告書送り先及び問い合わせ先

〒104-0032

東京都中央区八丁堀 2-5-1 東京建設会館 5 階

社団法人東京建設業協会 事業部業務課

TEL 03 (3552) 5656

建設関係殉職者調査報告書（自 平成17年7月1日 至 平成18年6月30日）

会社名 _____ 担当部署名 _____ 担当者名 _____

所在地 〒 _____ 電話番号 _____

50音順	ふりがな 殉職者名	所属会社名	性別	年齢	殉職年月日	殉職場所 工事名称	遺族代表者	
							氏名	住所
	ふりがな -----				平成 年 月 日			
	ふりがな -----				平成 年 月 日			
	ふりがな -----				平成 年 月 日			
	ふりがな -----				平成 年 月 日			
	ふりがな -----				平成 年 月 日			

※本報告書の個人情報につきましては、建設関係殉職者慰霊祭及び慰霊塔への合祀のみに利用いたします。

社団法人東京建設業協会 事業部業務課
電話03(3552)5656

全建 平成17年度「建設関係殉職者追善供養」を開催

145 柱の殉職者を慰霊



本会では、去る9月22日(木)、東京都港区にある増上寺にて、平成17年度「建設関係殉職者追善供養」を開催しました。今年度(平成16年7月1日～平成17年6月30日)、不幸にも不慮の災禍に遭われ、職域に殉ぜられた尊き145柱の御霊を新たに合祀しました。

これにより、昭和12年に土木建築殉職者慰霊塔を建立してから、現在までに同慰霊塔に合祀した殉職者は、61,937柱となりました。

本会では、建設業界の一員として、従来とも常に災害の根絶を叫び、人名

の尊重を至上として、職場の安全のために尽力しておりますが、その努力も及ばず、今年度145柱の皆様の尊い犠牲を加えますことは、誠に痛恨の痛みであります。また、杖とも柱とも頼む最愛の方々を失われ、悲しみに耐えつつ一生懸命生活をされているご遺族の方々のご心情を思うとき、哀愁の念に堪えません。

今日の我が国の経済社会の繁栄をもたらした社会資本整備のその陰には、殉職された多くの方々のご尽力が大きく寄与していることは申し上げるまでもありません。本会では、今後、更なる安全意識の向上、安全対策の推進に努力を傾注することにより、災害の撲滅を期することこそ奉安された殉職者のご意志に応える途であると肝に銘じておる次第であります。

追善供養には、本会会長をはじめ事務局役職員等、が参列し、労働災害の撲滅を祈願するとともに殉職された方々の冥福を衷心よりお祈りしました。

